



知っていますか？ シックスクール

子どもの環境を考える親の会
連絡先 0134(25)1182 or(27)5100
e-mail sato-jin@star.odn.ne.jp
No.71 2010年2月
会報は皆さんの会費によって作られています。
郵便振替 02760-4-77134 1100円/年

冬のゲレンデはゴーグル必須



冬のゲレンデで眼が浴びる紫外線の量は、夏のビーチの2.5倍ということが金沢医科大学とJ&Jの共同調査によりわかりました。調査は、冬の雪山と夏のビーチで実施されました。

それぞれの場所で紫外線量を“頭頂”と“眼部”の2箇所と比較したところ、“頭頂”は夏のビーチの方が多く浴び、“眼部”においては、冬の雪山の方が夏のビーチに比べ2.5倍多くの紫外線を浴びていることがわかったというものです。

冬の雪山の方が多くの紫外線を浴びる原因としては、雪山では、太陽が背面にある場合でも雪面反射の影響で、正面とほぼ同等の紫外線を浴びるからだそうです。つまり、雪山では、太陽の方向に関係なく、反射の影響により全方位から多くの紫外線を浴びるため、眼は一層の紫外線対策が必要ということです。さらに、高度が300m上昇すると紫外線量は4%増加するため、苗場や湯沢などの標高1000mクラスのスキー場では、紫外線が強くなるので特に注意が必要なようです。

では、その紫外線対策といえば、サングラスを思い浮かべるかもしれませんが、そこで、サングラスをかけた状態で眼が浴びる紫外線量を調査したところ、サングラスの形状によっては、サングラスをかけていない状態の夏のビーチと同レベルの紫外線を眼は浴びていることが判明しました。サングラス単独の場合、サングラスと顔の隙間から入り込んだ紫外線が眼に吸収されてしまい、強いダメージを与える可能性があるということです。あらゆる方向から眼に入ってくる強い紫外線を防ぐには眼を完全に覆うことができる「ゴーグル」が最も有効だそうです。子どものゴーグルは顔にあったものを選びましょう。

ちなみに、雪山で特に気をつけたい紫外線による眼の急性障害は「雪眼炎(雪目)」。「雪眼炎」を繰り返すことにより、将来翼状片や白内障を発症しやすくなるそうです。

雪眼炎(雪目) スキーや雪山登山で強い紫外線に目がさらされたときに、角膜の表面に細かい傷がつくことがあり、これを雪目といいますが、紫外線に目がさらされて、10時間ぐらいたって発病。目はごろつき、涙が出て、まぶしさとはげしい痛みのため目をあけられないことも。そのほかの殺菌灯、電気溶接でも同様のことが起こります。

合成洗剤や漂白剤に“有害性の世界共通マーク”

日本石鹼洗剤工業会は、国連の化学物質に関する国際表示制度(GHS)を11年から導入すると発表しました。対象は家庭での台所用洗剤と塩素系の漂白剤や洗浄剤、酸性の洗浄剤が対象ですが、順次拡大するそうです。

GHSとは、国ごとに異なる有害物質の表示を統一し、化学物質の危険性や有害性が一目で分かるようにしたものです。従来は製品にラベルで「目に入ると危険」「まぜるな危険」など注意を促すものが主流でしたが、新表示は、皮膚に刺激があるといった危険性に応じて含有成分ごとの共通のイラストマークを表示するそうです。皮膚刺激性以外には、急性毒性、目に対する重篤な損傷性、発がん性などの成分が含有されていることを4種類のイラストで表示する予定。

急性毒性の表示は勿論ですが、長期にわたり使用することで、微量であっても人や環境に有害な合成洗剤の表示はどうなるのでしょうか。正しく表示すれば、今後イラストマークだらけになるはず。例えば、薬用ハンドソープに使われているトリクロサンは「警告」、安息香酸塩は「危険」という具合に。

【GHS】化学物質は世界中で作られ、様々な製品に使用されているが、国ごとに危険性や有害性を分類する基準や表示が異なっていた。そこで、国連で世界共通のルールとして、GHSが2003年7月に採択された。

《柔軟剤》ニオイビジネスに意義あり！

「ニオイずっと長持ち」「洗濯後1週間たっても匂いが続く・・・」などニオイを強調した柔軟剤が出回っています。最近特に強烈なニオイを放っているのが外国製の柔軟剤“ダウニー”。香水と違い、つけているという自覚がない分、周りへの迷惑に気づかないようですが、それぞれが、いろんなニオイをつけて街に出てくると、もうこれは公害です。狭い室内、飲食店などでは最悪です。

昨年10月に化学物質過敏症が病名登録され、やっと病気として認められました。それなのに、患者を増やしかねないこのような有害な商品が後を絶ちません。それどころか売れ行きが急上昇だということです。化学物質過敏症患者をますます窮地に追い込むような商品。本来企業と国は、化学物質過敏症が病名登録された時点で、このような商品の製造販売を中止するべきです。柔軟剤は、香りの問題だけでなく、その成分(合成界面活性剤、合成香料など)に急性毒性やアレルギーを引き起こすなどの問題があります。

P&G、花王、ライオンの商品は買うのをやめましょう！

左からソフラン(ライオン)、レノア(P&G)、ダウニー(P&G)、ハミングフlea(花王)、ハミングフleaフレグランス・コレクション(花王)



買ってはいけません！

乳がん検診促す“無料クーポン”

北海道は、「検診無料クーポン券」を発行し、子宮がんと乳がんの受診率増加を狙っています。しかし、受診率は10月末で、6%台(小樽市は1%)。道は受診率の低さは、事前準備の遅れとし、今後50%まで引き上げることを目標にしているそうです。乳がん検診対象者は、40、45、50・・・60歳までです。米予防医学作業部会がマンモグラフィーによる乳がん検診は「40代の女性には勧められない」と勧告したばかりですが(会報69参照)・・・。こういう情報は流れないのです。

北海道の子宮がんと乳がんの検診対象者は、合わせて約35万人。これらの人を市町村がリストアップして検診手帳とクーポン券を送付すると、いったいいくらかかるのでしょうか。

プラスチック容器 健康被害招く

プラスチック容器や缶詰に使用されている化学物質のビスフェノールA(BPA)。これらの製品から浸出したBPAは、たとえ少量であっても、乳がん(乳ガン細胞の増殖を促す作用)、肥満、早熟などの深刻な健康被害を招くという研究結果がでました。発表したのは、フランス国立農業研究所。

BPAは、ほ乳瓶やプラスチック容器、食べ物や飲み物の缶、歯の詰め物(コンポジットレジン)や、子どもの歯を被膜するシーラント(虫歯予防)などに含まれています。今回の研究は、BPAは腸の浸透性を弱め、消化管の炎症への免疫系反応を鈍らせるという、BPAが吸収される臓器に着目したものです。今年5月、米国のほ乳瓶メーカー6社は、BPAの使用をやめることで合意しました。2008年には、カナダが、BPAを含むほ乳瓶の輸入、販売、広告を禁じる意向を表明しています。

さて、日本は？

女性の皆さん、マンモグラフィーによる乳がん検診を受けるまえに、まずはこんなことにも目を向けましょう。



ちょっと考えよう！

先進国で大量に備蓄していたインフルエンザワクチンが余っています・・・

(新型)インフルエンザワクチンですが、副作用への不安や「騒ぎすぎ」との認識が広まり、世界中で接種しない人が増え、ワクチンが余っています。そこで、大量に余ったワクチンは、途上国への売却または寄付の動きがでています。買い占めておいて、いらなくなったら寄付ですか？

副作用に関して言えば、どこの国の人も同じはず・・・

特に

香りのする“柔軟剤”は、やめよう！

あなたは、洗濯のあとに「柔軟剤」を使っていますか？
その「柔軟剤」は、香り付きですか？



1、柔軟剤とは(主成分＝陽イオン系の界面活性剤・安定化剤・香り成分・軟化剤・その他)

洗濯後の繊維に柔軟性を与えるための仕上げ剤。帯電防止効果、殺菌効果がある。すすぎ時に繊維から離れにくいので、陰イオン界面活性剤(合成洗剤)で洗濯したあとに使うと、残留した陰イオン界面活性剤と結合して不溶性の結晶になり、柔軟効果を発揮する。陽イオン系の界面活性剤は、石けんと逆のイオンになっているため「逆性石けん」と呼ばれることもある。柔軟仕上げのほか、ヘアリンス、消毒剤としても利用される。

2、柔軟剤の問題点

柔軟剤の主成分“陽イオン界面活性剤”は、界面活性剤の中で一番毒性が強く、致死量はグラム単位。強力なタンパク変成作用があり、洗濯後に衣類に残ることにより皮膚トラブルを起こしやすい。香料などの添加物がさらに毒性を強める。陽イオン界面活性剤が貝の内臓において、海水の一万倍程度にまで濃縮していることが確認されている。(日本大学生産工学部の渋川雅美教授らの研究グループ)ヨーロッパでも柔軟剤に使用される陽イオン界面活性剤が、分解されずに河川に残留し生物に害を与えるといわれている。合成界面活性剤は、いくら水に薄まってもその毒性を失わず、いつまでも生物(生体膜など)に対して影響を及ぼし続ける。

3、なぜ柔軟剤を使うのか

- ・ごわごわ感………合成洗剤で洗濯するとごわごわするが、せっけんで洗濯した場合は ごわごわしないので、柔軟剤は不要。無添加せっけんで洗濯しましょう！
- ・静電気………静電気の原因 ①乾燥(気温25度以下と湿度20%以下)②繊維の組み合わせ。
- ・ニオイ中毒?!……自己臭、加齢臭などことばによる不安。CMによる間違った情報の氾濫。

4、危険な柔軟剤を使わない方法

①洗濯の仕上げに少量のグリセリンを加える。②乾いた衣類には、グリセリンを少量加えた水をスプレー容器に入れ、スプレーする。

手作り柔軟仕上げ剤の作り方

- お酢 2カップ、●重曹 2カップ、●水 4カップ●ラベンダーオイル 3～4滴(お好みで)●ボトル
- 以上をボトルに入れて、振り溶かすだけ。洗濯機に入れる前に毎回振ってから入れること。

③衣類の素材別静電気対策 下表参照

塩化ビニール	ポリエチレン	ポリウレタン	アクリル	ポリエステル	ビニロン	アセテート	皮膚	毛皮	ウール	ナイロン	絹	レーヨン	木綿	麻
(-)								(+)						

プラスとマイナスが離れた位置にある物質同士ほど静電気は顕著。離れた素材同士の重ね着だと、静電気が起きやすく、近い同士の重ね着だと、静電気がおきにくい性質がある。ポリエステルスカートとナイロンストッキングの間には、綿やレーヨンの下着を着用するなど、工夫する。人気のフリースはポリエステルです。

5、合成香料の問題点

合成香料は、ほとんどが石油原料でアトピー、アレルギーの原因となります。鼻から吸収されると、直接、神経に影響を及ぼすこととなりますが、その安全性については、ほとんどデータがありません。うつ病、不眠症、ホルモン異常など、神経系統に深刻な影響を及ぼすという説もあります。又一部の香料には発がん性が指摘されているものもあります。

6、『柔軟剤公害』―“ニオイ”被害の実態 (当会に寄せられた声、化学物質過敏症患者さんのブログ等一部引用させていただきました)

- ・親戚の子が泊りにきた時、服に柔軟剤(フローラル系)のニオイがして、のどが痛くなったので全部洗濯したが、3度洗ってやっとニオイが消えました。こんなに衣類に浸み込んで? どういう物質かと不安になりました。
- ・娘が服を友達に貸してもどってきたら、強烈なダウニー臭が家中に充満し、洗いなおしました。友人によると、洗濯機にも臭いが付着してしばらく取れないそうです。この臭いの元は何でできているの?
- ・図書館で隣のおじさんの服から柔軟剤の匂いがしてゆつくり本を探せなかった。室内でこういう人に会うのがつかり。コンサート会場や映画館だとお金もかかっているのが悲惨です。今では、外出にはマスクは必需品です。
- ・保育士をしています。幼稚園でこどもを抱き上げたら柔軟剤の匂いで気分が悪くなり、そのあとずっと鼻水と吐き気がとまらなくなった。全身が脱力して、めまいもして仕事を休んだ。
- ・子どもが「先生の服がくさい」と言ってそばに行きたがらない。家庭訪問で柔軟剤の匂いがしたのでこの匂いだと思うが、少なくとも学校や幼稚園の先生、病院で働く人はにおいに気をつけて欲しい。
- ・教員ですが、生徒指導中教室でその子と二人でいると、柔軟剤(多分ダウニー)の匂いで鼻水が滝のように流れ、家に帰っても鼻がつまり苦しんだ。次回からマスクをつけて面接したが、結果は同じだった。家に帰って、鼻を洗いシャワーを浴びて少し楽になった。
- ・職場で柔軟剤(メーカーはわからない)を使っている人がいると、吐き気、頭痛、肩こり、だるさが。でも、やめると言えないのが辛いです。本人が、周りが迷惑していることに気づいていないのが最大の問題点だと思います。
- ・近所の柔軟剤の臭いに悩まされています。実際に家の中に臭いが充満するとアレルギーがでてしまいます。夜中に外干しされて喘息発作が起きたこともあります。カーテンを洗い直して、布団カバーを替えてもだめでした。窓を閉めても入ってくる柔軟剤の臭いは本当に苦しかったです。一瞬だと良い香りでも、住居だと24時間におうのでとても辛いです。
- ・マンションで隣人の女性の柔軟剤の臭いがすさまじく、鼻水ダラダラ、涙ぼろぼろ、頭痛吐き気……と、大変な苦しみでした。私はアレルギーがあります。数ヶ月我慢に我慢を重ね、最後には「私が何かしたというのだろうか?」と悲しくてポロポロ泣いていました。臭気を消すために空気清浄機を購入しずっとつけていたこともありましたが。
- ・飛行機やバスなどの乗り物で柔軟剤や化粧品などのニオイをさせている人が近くにいて、席を移ることもできず腹立たしい気分になり、「あなた、クサイ!」と大声で叫びたくなります。
- ・友人に、「(柔軟剤の)ニオイがきつい。何かがおかしい……」と言ったら 神経質だと言われた。
- ・鼻がムズムズくしゃみが止まらず、花粉症になったのか? と不安になってしまった。今は、ただひたすら新たなダウニー人口が増えないことを祈りつつ、自分の家から出る臭いにも気をつけよう! と心がけています。
- ・会社・公共施設等々に、これらのニオイが充満し、立ち入ることが出来ない場合が多々あります。このニオイにさらされていると、呼吸困難・めまい・方向感覚が失われ車の運転など出来なくなります。
- ・長女が小学校の頃、参観日に行くとトイレから出られないほど嘔吐してしまっった。

香料系の規制はなく、“ニオイビジネス”はエスカレートするばかりです。
小さな子どもは大人の作りだすこのニオイの中でどんな影響を受けているのでしょうか。
野放しにしているのでしょうか。
今回のテーマは『柔軟剤』でしたが、ニオイについては会報No.60もご参照ください。